

レポートリ検査を行う獣医師の皆様へ

1 四肢レントゲン写真

【各部位における撮影方向と目的部位】

- ・ レントゲン写真は、左右が明確に識別できるレントゲンマーカーを装着して撮影してください。(カセットの背一掌(底)側像は外側、外内側像は頭側、斜位像は頭・外側のどちらか)
- ・ データ提出の際は、下記の番号に合わせ部位の指定を行ってください。
※ 提出は44枚のセットで提出願います。

【基本部位 28枚】

左前肢球節 1) ~ 4)

- 1) 背一掌(底)側方向 第3中手(足) - 第1指(趾)関節
水平から約10~20度打ち下ろしの投射方向で
- 2) 外一内側方向 第3中手(足)骨遠位矢状稜・第1指(趾)骨近位
- 3) 背外一掌(底)内側方向 外側近位種子骨・第1指(趾)骨近位内側
- 4) 背内一掌(底)外側方向 内側近位種子骨・第1指(趾)骨近位外側

左手根関節 5) ~ 7)

- 5) 外一内側方向
- 6) 背外一掌内側方向 橈側手根骨・第3手根骨内側・第4手根骨
- 7) 背内一掌外側方向 中間手根骨・第3手根骨外側・第2手根骨

右前肢球節 8) ~ 11)

- 8) 背一掌(底)側方向 第3中手(足) - 第1指(趾)関節
水平から約10~20度打ち下ろしの投射方向で
- 9) 外一内側方向 第3中手(足)骨遠位矢状稜・第1指(趾)骨近位
- 10) 背外一掌(底)内側方向 外側近位種子骨・第1指(趾)骨近位内側
- 11) 背内一掌(底)外側方向 内側近位種子骨・第1指(趾)骨近位外側

右手根関節 12) ~ 14)

- 12) 外一内側方向
- 13) 背外一掌内側方向 橈側手根骨・第3手根骨内側・第4手根骨
- 14) 背内一掌外側方向 中間手根骨・第3手根骨外側・第2手根骨

左後肢球節 15) ~ 18)

- 15) 背一掌(底)側方向 第3中手(足) - 第1指(趾)関節
水平から約10~20度打ち下ろしの投射方向で
- 16) 外一内側方向 第3中手(足)骨遠位矢状稜・第1指(趾)骨近位
- 17) 背外一掌(底)内側方向 外側近位種子骨・第1指(趾)骨近位内側
- 18) 背内一掌(底)外側方向 内側近位種子骨・第1指(趾)骨近位外側

左飛節 19) ~ 21)

- 19) 外一内側方向 中心足根骨 - 第3足根骨 - 距骨関節
- 20) 背外一底内側方向 脛骨内果
- 21) 底外一背内側方向 脛骨遠位中間隆起・外側滑車

右後肢球節 22) ~ 25)

- 22) 背一掌（底）側方向 第3中手（足）一第1指（趾）関節
水平から約10～20度打ち下ろしの投射方向で
- 23) 外一内側方向 第3中手（足）骨遠位矢状稜・第1指（趾）骨近位
- 24) 背外一掌（底）内側方向 外側近位種子骨・第1指（趾）骨近位内側
- 25) 背内一掌（底）外側方向 内側近位種子骨・第1指（趾）骨近位外側
- 右飛節 26)～28)
- 26) 外一内側方向 中心足根骨一第3足根骨一距骨関節
- 27) 背外一底内側方向 脛骨内果
- 28) 底外一背内側方向 脛骨遠位中間隆起・外側滑車

【膝関節（後肢）8枚】

- 左膝関節 29)～32)
- 29) 尾一頭側方向 大腿骨遠位内側顆・外側顆 脛骨顆間結節
- 30) 外一内側方向 膝蓋骨・大腿骨遠位外側滑車・内側滑車 脛骨近位
- 31) 尾外一頭内側方向 大腿骨遠位外側滑車・大腿骨遠位内側顆・膝蓋骨
- 32) 屈曲 外一内側方向 大腿骨遠位内側顆・膝蓋骨
水平から約10～20度打ち上げの投射方向で
- 右膝関節 33)～36)
- 33) 尾一頭側方向 大腿骨遠位内側顆・外側顆 脛骨顆間結節
- 34) 外一内側方向 膝蓋骨・大腿骨遠位外側滑車・内側滑車 脛骨近位
- 35) 尾外一頭内側方向 大腿骨遠位外側滑車・大腿骨遠位内側顆・膝蓋骨
- 36) 屈曲 外一内側方向 大腿骨遠位内側顆・膝蓋骨
水平から約10～20度打ち上げの投射方向で

【蹄（前・後肢）8枚】

- 左前肢 37)～38)
- 37) スカイビュー像（65°）
- 38) 外一内側方向
- 右前肢 39)～40)
- 39) スカイビュー像（65°）
- 40) 外一内側方向
- 左後肢 41)～42)
- 41) スカイビュー像（65°）
- 42) 外一内側方向
- 右後肢 43)～44)
- 43) スカイビュー像（65°）
- 44) 外一内側方向

2 上部気道内視鏡動画の撮影方法について

- ・ 人馬の安全のために鎮静剤を使用した場合は、鎮静剤の薬品名と用量を明記してください。
- ・ 安静時立位にて行い、鼻捻子で保定してください。
- ・ 喉頭の動画を撮影する際は、馬の顔の判別が出来るよう3秒以上撮影し開始してください。

- ・ 内視鏡は右鼻腔より挿入し、喉頭の動画は喉頭蓋を含めた画像を撮影してください。
- ・ 披裂軟骨の外反運動を確認するために、左右の披裂軟骨小角突起の外反運動を少なくとも3回以上明瞭に観察出来るように撮影を行ってください。目安として1分程度で撮影してください。顔の特徴がわかるように撮影。

※ 撮影した動画の編集は行わないでください。

3 前肢のエコー検査

【各部位における撮影方向と目的部位】

Level1A～3Cにおける sagittal Scan 及び cross-section Scan 浅屈腱、深屈腱、支持靭帯、繋靭帯等。

ご不明な点は、下記担当獣医師までご連絡下さい。

イチヤマホースクリニック

獣医師 一山 雄二郎

TEL:090-3123-3802

Mail: ihclinic1991@gmail.com